

各関係機関の長 殿
各病害虫防除員

宮崎県病害虫防除・肥料検査センター所長

令和3年度病害虫防除情報第3号

サツマイモ基腐病について、各地域の発生状況を把握しながら適切な防除指導をお願いします。

本年産サツマイモ栽培において、本ぼでのサツマイモ基腐病の発生が確認されました。

今後の発生拡大が懸念されますので、発病株の除去や薬剤防除など適切な対策を実施しましょう。

- 1 作物名 かんしょ
- 2 病害虫名 サツマイモ基腐病
- 3 発生状況(経過)

- (1) 5月中旬に青果用サツマイモの複数のほ場（品種：高系14号）において、サツマイモ基腐病の発生が確認された（図1）。
- (2) 今年は、九州南部の梅雨入りが平年より早く、今後、本病に好適な条件が長く続くことが予想され、本ぼでの発生拡大が懸念される。



図1 確認された発病株
(地際数cm離れた上部から発病)



図2 典型的な発病株
(地際から発病)

4 防除上の注意

【本ぼ】

- (1) 定植後に発病した株は、病斑部に大量の胞子を形成し（図3）、降雨等により周辺に拡がることから、ほ場での発生の有無をこまめに確認する。発病株を見つけた場合は、早急に抜き取り、その場でビニール袋などに入れてほ場外に持ち出し、適切に処分する。
- (2) 発病株を除去した後は、周辺株への伝染を予防するため、登録のある薬剤による予防散布を全面に行う。なお、散布する際は、株元にしっかりと薬液がかかるよう注意する。
- (3) 特に長雨により発生が助長されやすいため、晴れ間を利用して薬剤散布を行う。また、畝間に停滞水が生じるような大雨や台風の後も、速やかに薬剤散布を行い、二次伝染による蔓延を防止する。

- (4) 2021年4月現在、2種の銅剤（ジーファイン水和剤、Zボルドー）とアミスター20フロアブルが登録されているので、使用基準に従って適切に散布する（表1）。
- (5) 薬剤防除にあたっては、銅剤による予防を基本とし、アミスター20フロアブルは耐性菌が発生するリスクがあるため、連用しないよう注意すること。

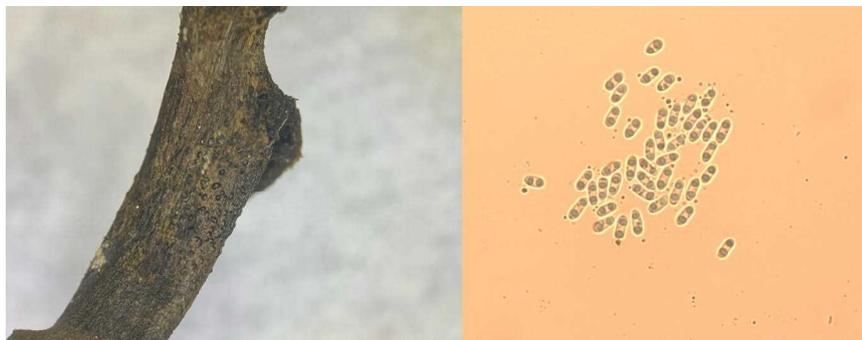


図3 病斑部に形成した分生子殻（左）及び胞子（右）

薬剤名	希釈倍数	使用回数	使用時期	使用方法
ジーファイン水和剤	1,000倍	—	収穫前日まで	散布
Zボルドー	500倍	—	—	散布
アミスター20フロアブル	2,000倍	3回以内	収穫14日前まで	散布
	32倍	3回以内	収穫14日前まで	無人航空機による散布

【これから定植するほ場】

- (1) 苗床に本病が発生した場合、症状のある株は速やかにハウス外に持ち出し、適切に処分する。
- (2) 採苗の際は、苗床の地際部から5cm以上離して採取し、採苗時のハサミはこまめに消毒（火炎滅菌または丁寧な洗浄と拭き取り）する。
- (3) ベンレート水和剤またはベンレートT水和剤20を用いて、必ず苗消毒を行う。また、消毒液はラベルに記載してある濃度を遵守の上、十分な量を準備し、使用する当日に調整したものを用いる（表2）。
- (4) 本病は、排水不良のほ場で発生しやすいため、本ほの排水対策を徹底する。

薬剤名	希釈倍数	使用回数	使用時期	使用方法
ベンレート水和剤	500～1,000倍	1回	植付前	30分間苗基部浸漬
ベンレートT水和剤20	200倍	1回	植付前	30分間さし苗基部浸漬

《連絡先》宮崎県総合農業試験場 病害虫防除・肥料検査課
 （病害虫防除・肥料検査センター） 阿萬・久野
 TEL：0985-73-6670 FAX：0985-73-2127
 E-mail：byogaichu-hiryo@pref.miyazaki.lg.jp